

社会福祉法人 日本盲人福祉委員会

令和4年度事業報告

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

第1章 社会福祉事業

1 法人本部

(1) 理事会

①第109回理事会

期 日：令和4年6月13日

場 所：日本視覚障害者センター、オンライン

主な議題：令和3年度事業報告及び同決算報告、理事・評議員交代

②第110回理事会

期 日：令和5年3月29日

場 所：日本視覚障害者センター、オンライン

主な議題：令和4年度補正予算(案)

令和5年度事業計画(案) 同予算(案)

(2) 評議員会

①第92回評議員会

期 日：令和4年6月30日

場 所：日本視覚障害者センター、オンライン

主な議題：令和3年度事業報告及び同決算報告、理事の交代

新任：山岸直人 退任：木村利男

②第93回評議員会

期 日：令和5年3月29日

場 所：日本視覚障害者センター、オンライン

主な議題：令和4年度補正予算(案)

令和5年度事業計画(案) 及び同予算(案)

(3) 監事監査

期 日：令和4年5月17日

場 所：日本視覚障害者センター

(4) 評議員選任・解任委員会

期 日：令和3年6月8日

場 所：日本視覚障害者センター

新 任：安田咲登子

退 任：山岸直人

(5) 各種会議

①愛盲シール委員会

・ 第1回委員会

期 日：令和3年6月28日

場 所：日本視覚障害者センター、オンライン

主な議題：2022-2023 シールデザイン、福祉助成金募集要綱確認

・ 第2回委員会

期 日：令和4年2月20日

場 所：オンライン

主な議題：シール製作、寄付、福祉助成金交付状況報告、次年度方針

②福祉助成金審査委員会

期 日：令和4年12月20日

場 所：日本視覚障害者センター

2 助成事業

2-1 第65回 愛盲シール運動

今年度も季節の花等をあしらったシールを製作し、全国の登録会員、協力団体・施設、盲学校等へ頒布した。手数料等の料金が値上がりし、経費を圧迫していることから登録会員については過去5年間に寄付の実績のあった4,079件に限定して送付した（前年度は5,739件）。本人逝去、高齢のため退会、転居先不明などの削除対象は96件だった。（前年度は341件）。

<愛盲シール寄付件数・金額>

	令和4年度	令和3年度
件 数：	2,039件	2,307件
金 額：	6,236,827円	8,418,850円

<団体分担金>

	令和4年度	令和3年度
日 視 連	595,500円	538,000円
日盲社協	270,000円	270,000円
盲学校長会	314,250円	318,150円

計 1,179,750 円 1,126,150 円

2-2 福祉助成金

令和 4 年度の福祉助成金申請は 7 月 20 日～9 月 30 日まで募集し、団体から総額 8,910,000 円の申請があった。申請団体は昨年度より 8 団体増え、申請総額は増加した（昨年度は 7,535,000 円）。実績と申請内容を検討し、62 団体すべてに対し、総額 5,270,000 円の支給を決定した。令和 3 年度に支給した事業のうち新型コロナの影響により中止 1 件の変更届を受け付けた。

<令和 4 年福祉助成金>

	令和 4 年度		令和 3 年度	
① 施設の改善・備品購入	7 件	1,200,000 円	9 件	500,000 円
② 会議・講習会・研修	22 件	2,160,000 円	18 件	2,185,000 円
			件	
③ 出版・啓発	14 件	760,000 円	17 件	1,720,000 円
④ 調査・研究	4 件	430,000 円	3 件	420,000 円
⑤ 文化・スポーツ	15 件	720,000 円	7 件	345,000 円
合計	62 件	5,270,000 円	54 件	5,170,000 円

3 社会福祉充実計画

平成 31 年度決算に基づく社会福祉充実計画は、令和元年度決算に基づき 3 年 4 月に終了申請を行い承認されたが、厚生労働省の指導のもと、2 年度決算に基づき、次の 4 事業からなる新たな社会福祉充実計画を提出し、4 年 2 月 3 日に承認された。

- (1) 職員資質向上研修事業
- (2) 職員労働条件改善事業
- (3) 大災害被災視覚障害者支援事業
- (4) 視覚障害者に対する的確で有効な情報提供の在り方に関する調査事業

4 年度は、職員資質向上研修事業において、職員 2 名が点字技能に関する研修を受講し、昨年度に引き続き PC の整備を行った。職員労働条件改善事業において、調整手当の新設、一時金の増額支給を行った。

また、大災害被災視覚障害者支援事業については、災害支援員ネットワーク養成研修会をオンライン形式で行い、全国から 140 名が参加した。

第2章 公益事業

1 情報収集及び提供事業

1-1 WBU 事業

(1) WBU（世界盲人連合）

WBU 執行委員会への参加（オンライン）

期 日：9月21日

派遣者：武井徹

(2) WBUAP（アジア太平洋地域協議会）

①WBUAP 役員会への参加（オンライン）

期 日：8月14日

派遣者：武井徹、田畑美智子（助言者）

②WBUAP マッサージ委員会理事会への参加（オンライン）

期 日：9月3日

派遣者：前田智洋、指田常務（竹下副委員長代理）

③WBUAP マッサージ委員会理事会への参加

期 日：3月30日～31日（ベトナム・ハノイ）

派遣者：竹下理事長

(3) 国際活動に関する情報提供とウクライナ視覚障害者支援

ロシアのウクライナ侵攻に伴う視覚障害者の状況について情報収集し、対応した。

また、ウクライナ視覚障害者支援のための募金活動を4月15日から開始し、5,662,985 円の義援金が寄せられた。3回に分けてカナダのウクライナ協働基金へ送金した。

1-2 生協助成事業

大阪府民共済生活協同組合及び埼玉県民共済生活協同組合からの助成を受けて、「新型コロナウイルス感染症拡大下のマッサージ等における視覚障害者の就労及び生活の実態等に関する調査」を実施した。報告書は冊子の他、点字版及びデージー版を作成し関係団体等に配布した。

1-3 点字誌出版受託事業

「自由民主」点字版（活字併用）105号～108号を発行した。

1-4 災害対策事業

(1) 被災視覚障害者支援対策事業

地震、豪雨、台風などの災害により被災した視覚障害者の状況を把握し、避難生活における質の確保、復興に向けて必要な支援を行うこととしているが、今年度は幸い、そうした災害は起こらなかった。

被災視覚障害者の支援活動を行う支援員の登録更新、追加募集を行うとともに、「視覚障害者にとってのハザードマップ」をテーマに研修会を実施した。今回の対象者は登録支援員に限らず、どなたでも参加可能としたところ、多くの方に参加していただいた。

期 日：令和5年2月15日

参加者：140名

2 啓発広報事業

2-1 啓発事業

(1) ニュースレター（日盲委会報）の作成・発行

第80号（令和4年9月号）及び第81号（令和5年3月号）を各1,500部発行し、配布した。

(2) 「盲人のための国際シンボルマーク」の普及広報活動及び管理

自治体の障害福祉課、視覚障害者団体、民間企業等、66件の申請があり、審査のうえ承認した。

(3) 共催事業

① 「第52回朗読録音奉仕者感謝の集い」 鉄道弘済会

関東甲信越地区表彰令和4年9月5日、全国表彰9月26日

② 「第59回点字毎日文化賞」副賞の授与 点字毎日

受賞者 高知システム開発

③ 点字考案200周年記念事業 第2回記念講演会&シンポジウム

令和4年12月10日（日視センター・オンライン）

記念講演：「米国における点字制作の最新事情：デジタル時代の点字」

シンポジウム：「日本が創り出した点字メディア 一さらなる発展をめざして」

(4) 各種行事への後援及び協賛

① 第75回全国視覚障害者福祉大会（日視連） 後援

令和4年5月31日（愛知県ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋）

② 第70回全国盲人福祉施設大会（日盲社協） 後援

令和4年6月28日（東京視覚障害者生活支援センター）

- ③ 第19回本間一夫文化賞（日本点字図書館） 後援
令和4年11月12日
- ④ 第37回全日本視覚障害者柔道大会(全日本視覚障害者柔道連盟) 後援
令和4年5月21日（東京・講道館）
- ⑤ 2022年度「道路ふれあい月間」(国土交通省) 協賛

2-2 視覚障害者選挙情報支援プロジェクト事業

- (1) 令和4年7月10日に実施された第26回参議院議員通常選挙において視覚障害者用「選挙のお知らせ」点字版43,780部、音声版 デイジー27,339部、テープ9,018部 拡大文字版 6,290部の総計86,427部を製作、発行した。
- (2) 選挙公報の点字版・録音版、拡大文字版作成のための事務局会議に9月10日に開催した。また、研修会を各部会で行った

2-3 地域貢献活動の実施

- (1) 新宿区内社会福祉連絡会への参加
新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動は主にオンラインで情報交換が行われた。
- (2) 日視連フェスへの参加
令和4年12月6日に、特別企画ウクライナ視覚障害者支援チャリティコンサートとして開催された。